

**Rinnai**

---

# 2012年度期末 決算説明

2013年5月10日

# 2012年度 連結決算要点

1

**売上高：2518.3億円** （前期比 +2.1%）

国内の販売増に加え、海外も上期の減収を下期で挽回

**営業利益：263.5億円** （前期比 1.1%）

点検対策費用計上で減益も減益幅縮小

**経常利益：290.6億円** （前期比 +0.5%）

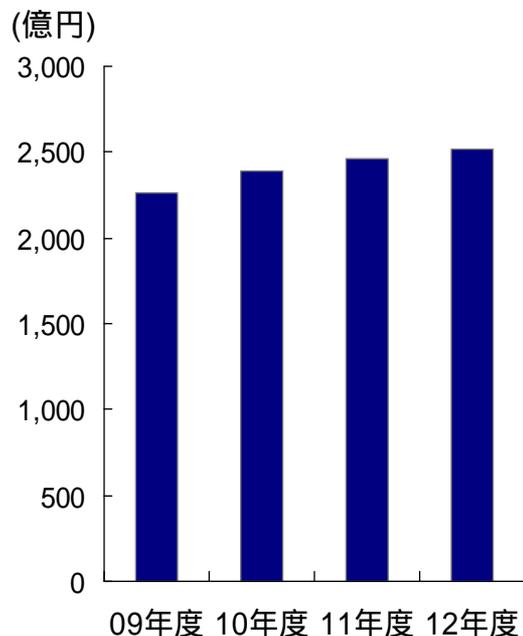
営業減益も、為替差益計上で増益

**当期純利益：193.7億円** （前期比 +15.3%）

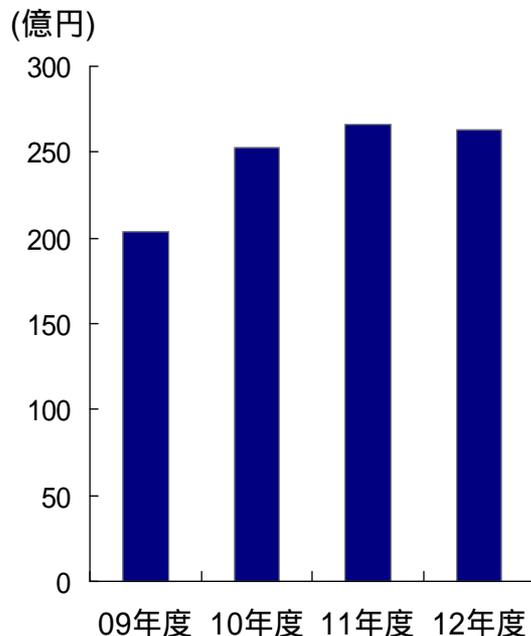
投資有価証券評価損を計上した昨年に対しては増益

- ・ 好調持続の国内に加え、海外も販売回復で増収
- ・ 点検対策費用計上で営業減益も経常利益、純利益は計画達成

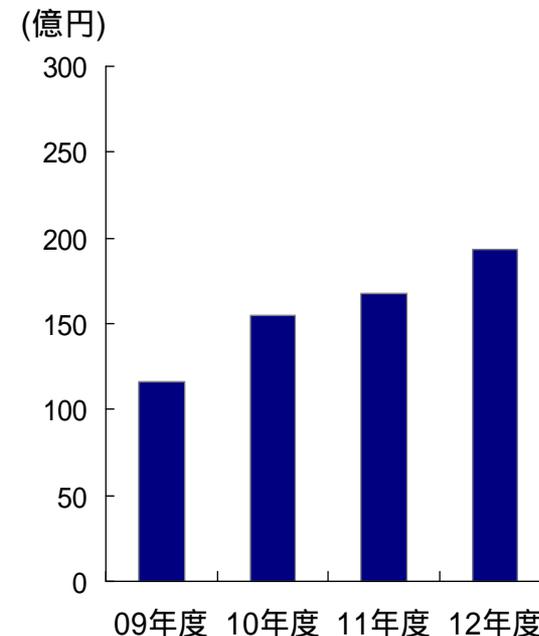
## 売上高



## 営業利益



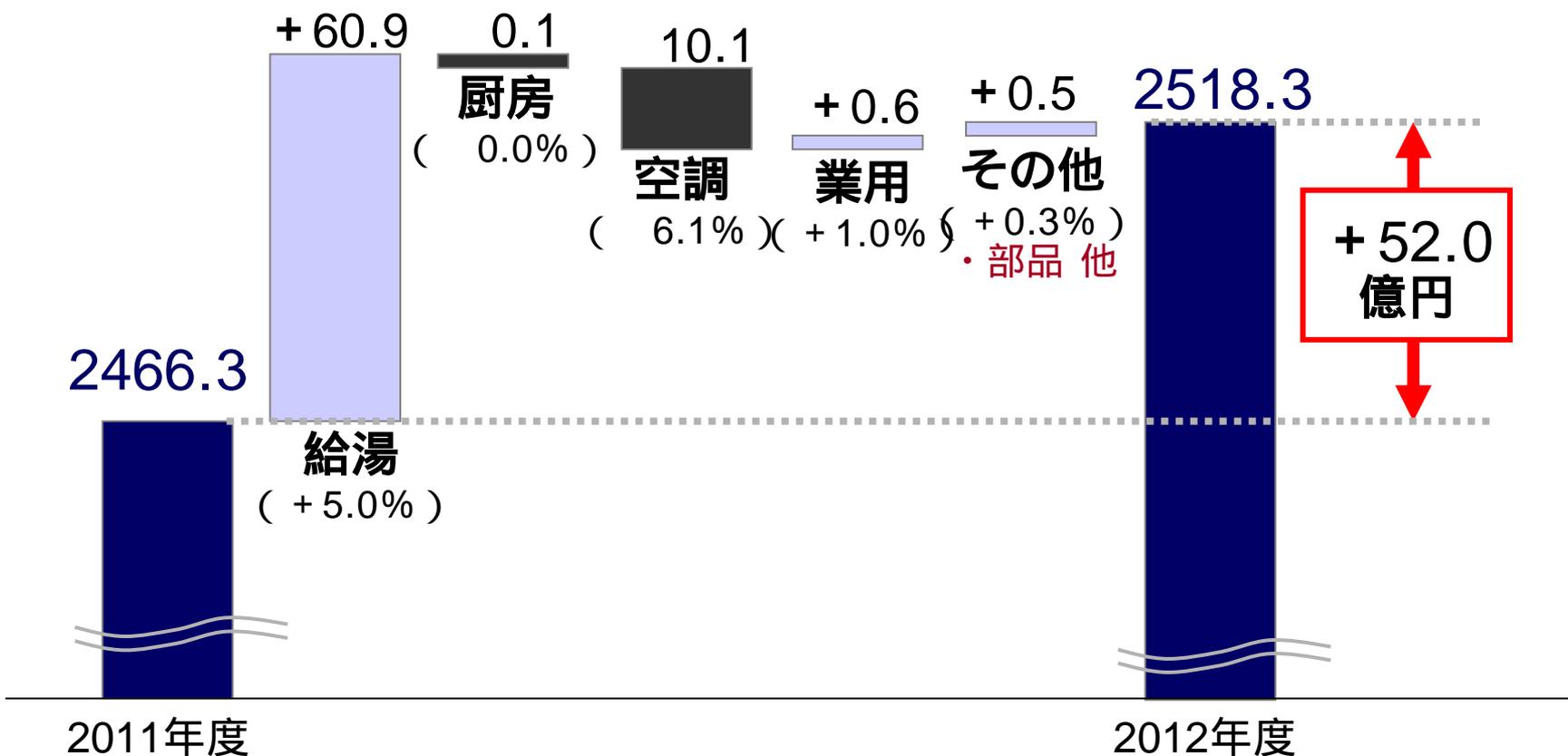
## 当期純利益



- ・ 営業利益率10.5%と高水準を維持。実質成長は継続
- ・ 売上高、経常利益、当期純利益は過去最高を計上

# 2012年度 連結売上分析（商品別）

[ 単位：億円 ]



- ・ 給湯分野では好調な国内に加え、海外も回復し売上増を牽引
- ・ オーストラリア学校向け暖房機特需の反動減の影響が残り空調分野は減収

# 2012年度 連結損益実績内訳

[ 単位：億円 ]

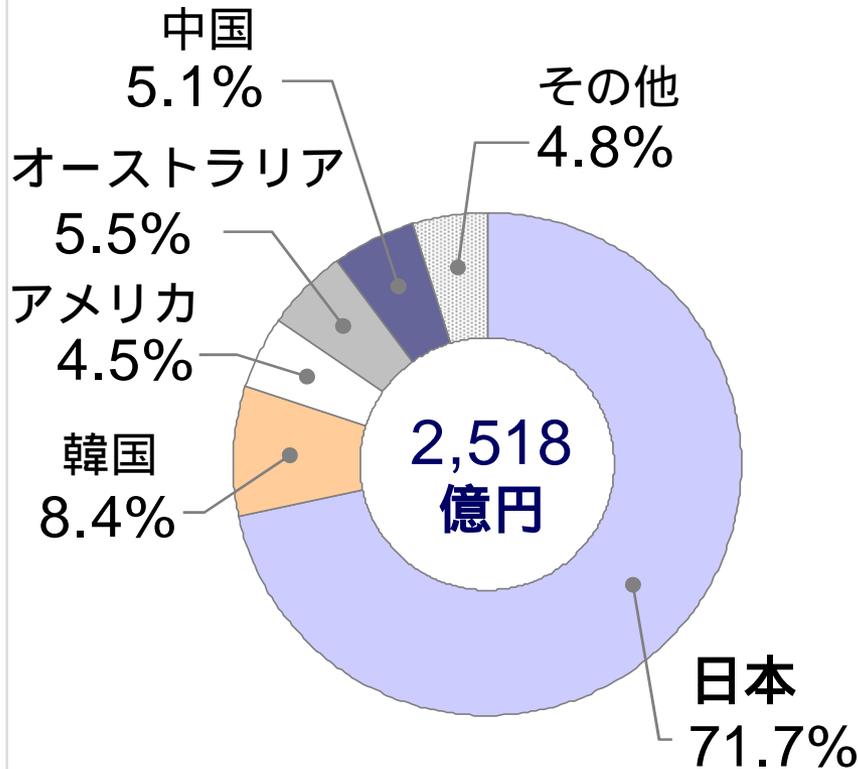
	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
<b>連 結</b>	2518.3	+ 2.1%	263.5	1.1%	10.5%	0.3P



	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
<b>リンナイ</b>	1885.5	+ 3.0%	180.6	+ 0.1%	9.6%	0.3P
<b>国内関連</b>	968.2	0.3%	24.0	+ 16.0%	2.5%	+ 0.3P
<b>海外関連</b>	770.8	+ 0.4%	59.6	3.5%	7.7%	0.3P
<b>合 計</b>	3624.6	+ 1.5%	264.3	+ 0.5%	7.3%	0.1P

# 連結売上高 セグメント(地域)別構成比

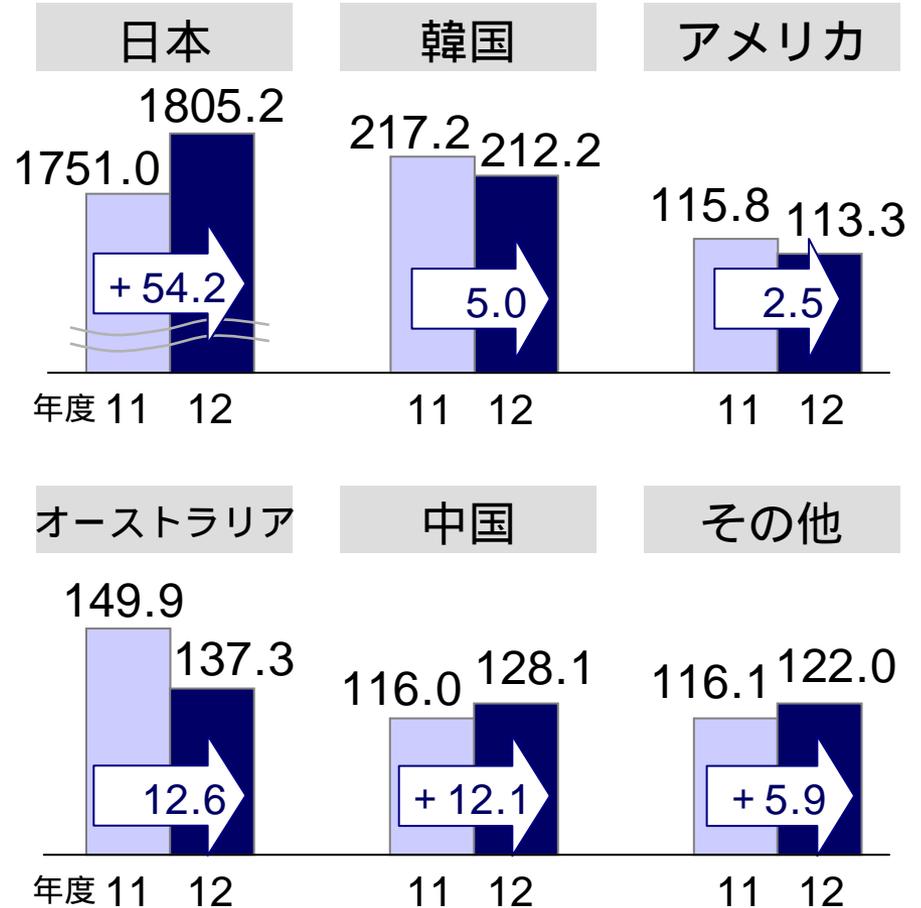
## 2012年度 売上高



その他：台湾・タイ・ベトナム・ニュージーランド・ブラジル等の現地法人の事業活動を含む

## セグメント(地域)別前年比較

[単位：億円]



# 商品別売上実績（給湯機器）

[ 単位：億円 ]

	2011年度	2012年度	前期比 増減率
日本	781.8	832.3	+ 6.5%
韓国	94.6	94.3	0.2%
アメリカ	102.9	101.6	1.3%
オーストラリア	80.3	77.9	3.1%
中国	93.5	104.6	+ 11.8%
その他	56.9	60.3	+ 6.0%
合計	1,210.2	1,271.2	+ 5.0%

商品構成比：50.5%



日本

アメリカ



オーストラリア

- ・国内はガス機器需要の高まりと、高付加価値商品へのシフトで好調
- ・アメリカは景気回復遅れで出遅れるも減収幅は縮小
- ・中国では内陸部のインフラ拡大に伴う成長と上海地区の回復で売上増

# 商品別売上実績（厨房機器）

[ 単位：億円 ]

	2011年度	2012年度	前期比 増減率
日本	678.3	681.4	+ 0.5%
韓国	60.9	54.8	10.0%
中国	18.7	20.2	+ 7.6%
その他	29.7	31.2	+ 5.0%
合計	787.9	787.8	0.0%

商品構成比：31.3%



日本



韓国



中国

- ・国内はキッチンのシステム化が進みビルトインコンロとレンジフードが伸長
- ・韓国では市場縮小と競争激化でコンロ販売減少

# 商品別売上実績（空調機器）

[ 単位：億円 ]

	2011年度	2012年度	前期比 増減率
日本	98.3	98.2	0.1%
韓国	2.9	3.2	+ 8.9%
アメリカ	11.6	10.1	12.6%
オーストラリア	49.0	40.3	17.7%
その他	4.8	4.6	2.6%
合計	166.8	156.6	6.1%

商品構成比：6.2%



日本

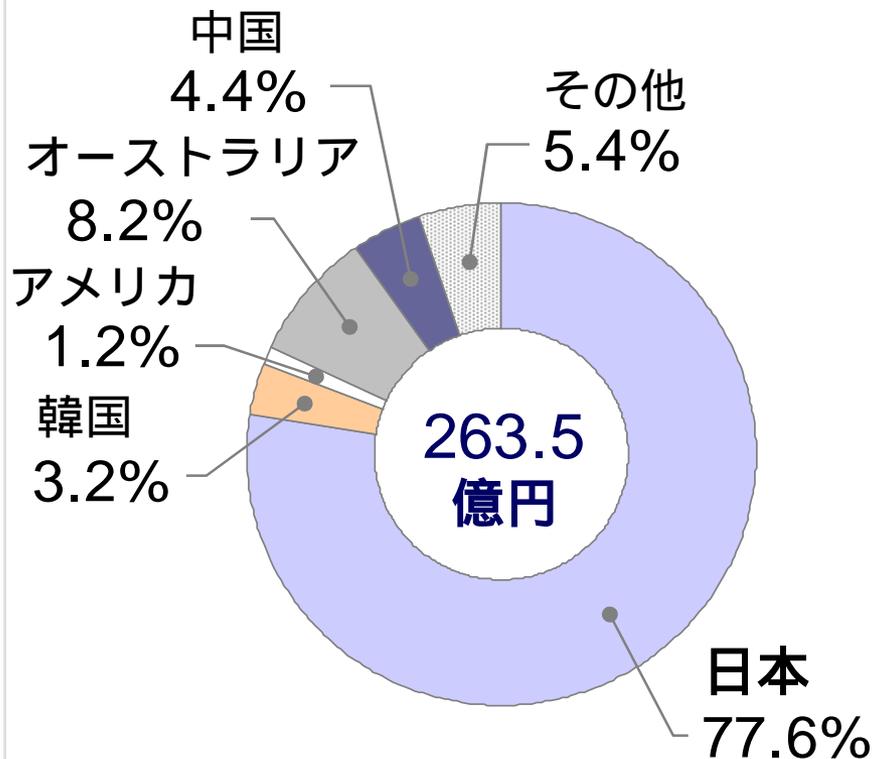


オーストラリア

- ・ 日本では節電意識の高まりで  
ガス暖房機へのシフト継続（2010年度比 + 20.6%）
- ・ オーストラリアは昨年上期までの補助金による特需の反動減

# 連結営業利益 セグメント(地域)別構成比

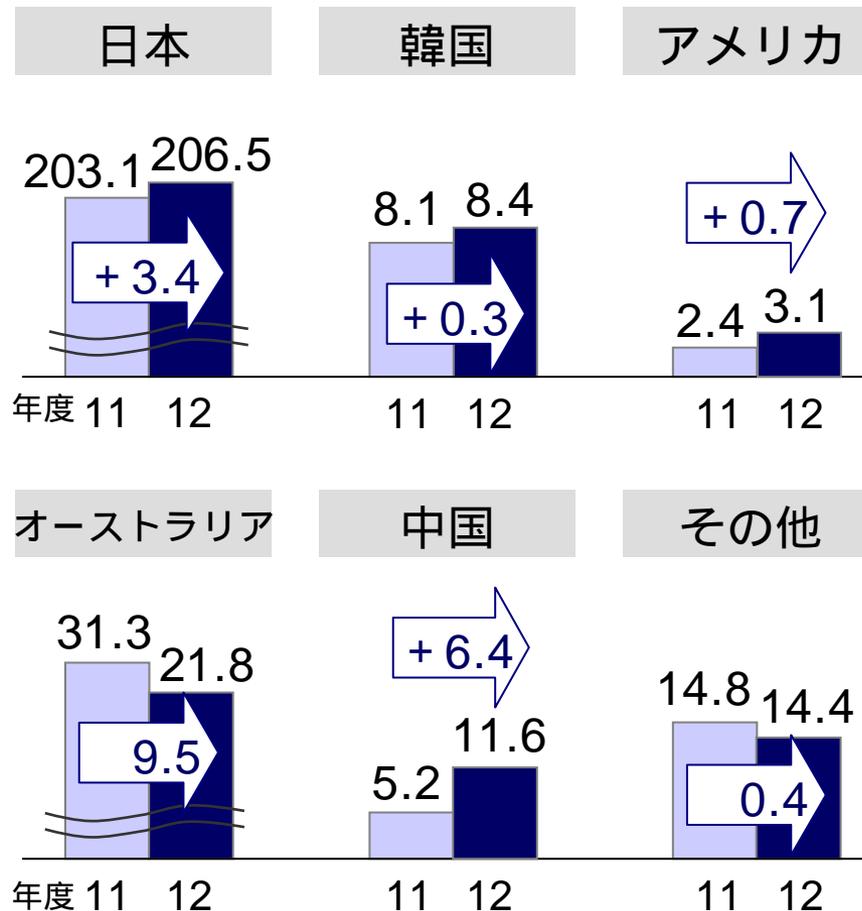
## 2012年度 営業利益



その他：台湾・タイ・ベトナム・ニュージーランド・ブラジル等の現地法人の事業活動を含む

## セグメント(地域)別前年比較

[単位：億円]

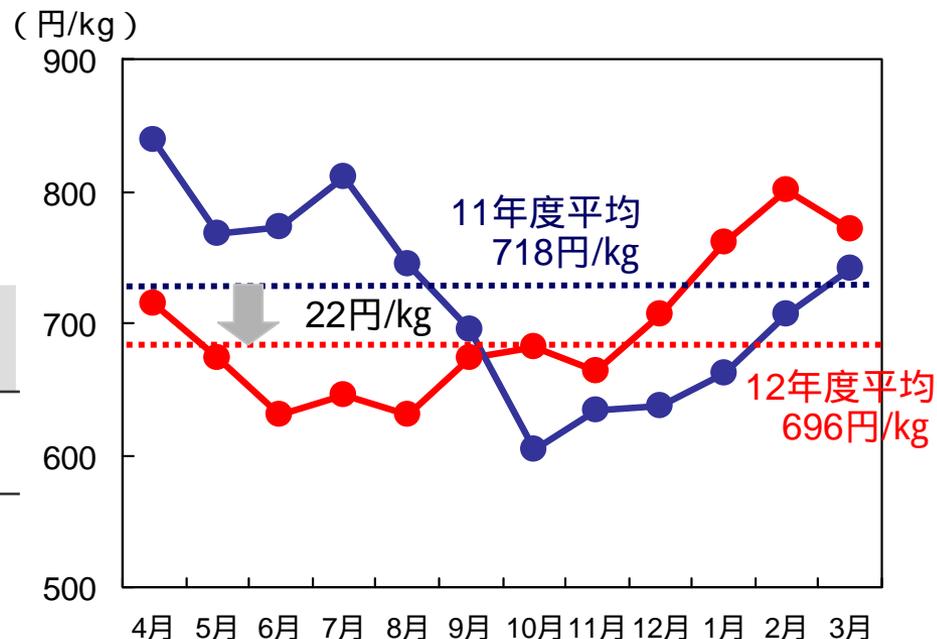


## 電気銅の動向

- 12年度の期初の想定単価  
780円/kg を下回り推移

	12年度	11年度	前期比 増減率
平均単価	696	718	3.0%

使用箇所：給湯器（熱交換器等）

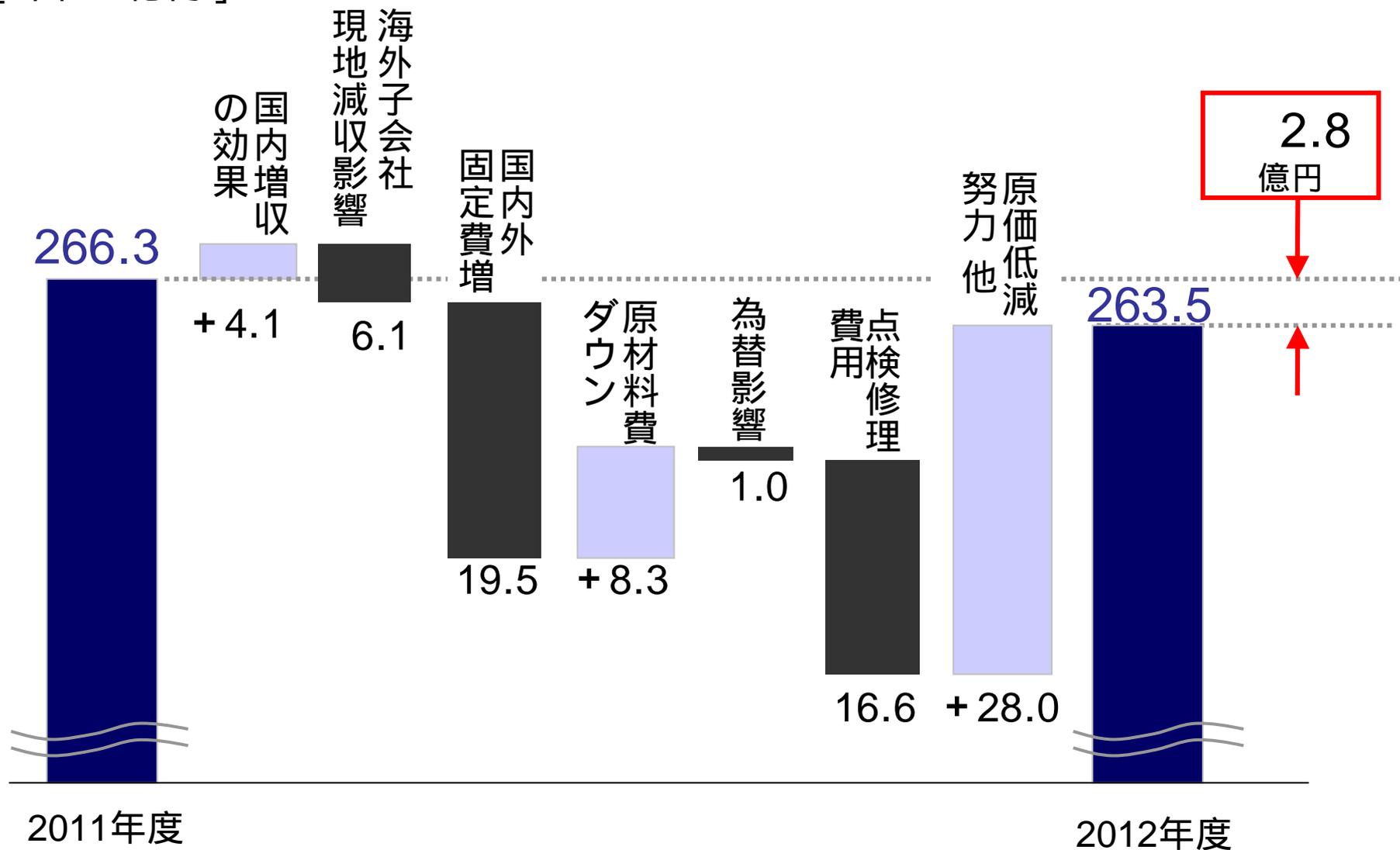


## 鉄鋼の動向

- 鉄鋼材料は昨年度よりも低い水準で推移

# 2012年度 連結営業利益分析

[ 単位：億円 ]



熱と暮らしを創造する

# Rinnai

本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。